尾久八幡

令和8年度11月号
令和8年11月2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校 長 稲葉 裕之

八幡中の“文化”を感じた一日となりました

学芸発表会【舞台発表の部】 10月24日（土）



『雲外蒼天 ～一人ひとりの輝きを』をスローガンに、10月24日（土）、本校2階アリーナにて、学芸発表会【舞台発表の部】を開催しました。

午前の部最初のプログラム「合奏・ダンス」では、6組生徒がそれぞれ演奏・ダンスを担当し『Happiness』を披露してくれました。全員が指揮をしっかりみることで心を一つにし、息の合ったパフォーマンスをみせてくれました。

続いて学年ごとの「合唱コンクール」。1年生にとってクラス合唱は初めての取り組みなので、練習は苦労しましたが、当日は、どの学級も精いっぱい声を出していました。続く2年生はさすが上級生、それぞれの学級らしい合唱を作り上げてきてくれました。そして3年生、どの学級も積み重ねてきた練習の成果を発揮し、そのクラスとしての最高の合唱を会場に響かせてくれました。閉会式成績発表での賞の結果は様々でしたが、学級で共に作り上げる楽しさ、仲間とやり遂げた充実感、そしてそれを学年・学校で共有できる喜び、そうした“感動体験”を味わえた合唱コンクールでした。午前の部最後は「有志合唱」で締めくくりました。





学年	金賞	銀賞	銅賞	指揮者賞
3年	2組・3組	4組	1組	【3-1 田近ちとせ】
2年	4組	1・3組	2組	【2-1 村井紬生】【2-3 髙野遥】
1年	2・3組	5組	1・4組	【1-1 小林夕乃】

特別賞：6組　伴奏者賞：全学級の伴奏者

午後の部は、夏休みの『荒川区立中学校防災部被災地訪問』に学校代表として参加してのレポート「被災地訪問報告」に続き、翌週の『荒川区立中学校連合英語発表会』への出場を控えた生徒を含む代表生徒4名による「英語科発表」を聴きました。みんな堂々とした態度で、内容もレベルの高い発表でした。

次に、「演劇部発表『Happy Birthday』」を鑑賞しました。演劇部は、この作品で2週間後の11月7日（土）に日暮里サニーホールで開催される『荒川区中学校演劇発表会』に出場します。

休憩をはさんで最後の演目は、「吹奏楽部発表」による演奏でした。吹奏楽部は『日本管楽合奏コンテスト』の予選審査会において最優秀賞を受賞、本選となる11月7日（土）の全国大会『中学生A部門』に出場します。そうした中での練習は大変だったかと思いますが、この夏の吹奏楽コンクールで演奏した「大いなる大地 ～チンギス・ハーン」をはじめ、なじみのある楽曲など全7曲披露してくれました。演奏の素晴らしさはもちろん、工夫を凝らした MC や見せる演出で楽しませてくれました。







発表	演目、発表者 等
被災地訪問報告	【2-1近藤寧音】【2-3 加藤唯】
英語科発表	レシテーション部門 “The letter” from *Frog and Toad Are Friends*【2-3 荒木音乃】 “I Have a Dream”【2-3 小野澤稜帆】 スピーチ部門 “Perfect AI,Honest Hearts”【3-1 前田瑠花】 “Bears and Us”【3-4 大井夢愛】
演劇部発表	「Happy Birthday」
吹奏楽部発表	「大いなる大地 ～チンギス・ハーン」「夕映えの丘」「名探偵コナンのメインテーマ」 他

この学芸発表会は、学校での学習・活動のうち、主に表現活動の成果を発表する場です。日頃、運動部の活動は目にすることがありますが、この会では文化系のさまざまな活動を見る機会ともなっています。演奏レベルの高さとともに音楽でみんなを楽しませてくれた吹奏楽部、他校では珍しくなりつつある演劇文化をみせてくれる演劇部、練習の努力がうかがえる英語科発表、荒川区代表としてフィールドワークに取り組んだ被災地訪問など。いずれもその出来栄えに感心すると共に、生き生きと取り組む姿は、こちらもみていて嬉しくなりました。学校という場所には、部活動を含め、こうした様々な活動の“チャンス”があります。今回、文化的活動についてお互いに知ることができたことも、この会の成果の一つだと思いました。八幡中の“文化”を感じた一日となりました。

本校の学校経営方針の「目指す学校像」の1つに、「チャンスの転がっている学校」があります。これは、学校生活のなかに様々な経験をする機会を設けることで、自分に向いていることや興味のもてることに出会ったり、自分の良さや得意なことに気付いたりする、そんなきっかけ・出会いが多くある学校でありたいという思いを表しています。部活動やボランティア活動を奨励したり、JRC 活動を取り入れたり、また、9月に行った「校内ビブリオバトル」もその1つです。こうした様々な活動のチャンスがあり、そこから自分の良さを発見したりそれを発揮したり、文化的な楽しみや喜びを味わうことができる八幡中でありたいと思います。

ここからは、10月に行われたその他の活動について紹介します。

「あらかわ子ミュニティフェスタ 2026」のお手伝いをしました。

ボランティア防災部 イベント運営ボランティア参加 10月4日（日）

本校では、社会貢献活動・地域奉仕活動を推進・奨励しています。

10月4日（日）、荒川区生涯学習センターを会場に、「あらかわ子ミュニティフェスタ 2026」が開催されました。このイベントは、区内で、子供たちのために地域活動を行っている団体が集まり、様々な遊びや体験ができる子供向けイベントです。





本校からはボランティア防災部を中心に本校生徒が参加しました。当日は主に次のような係を担当しました。

・「おもちゃの交換会」　：おもちゃの消毒や動作確認
・「楽器ひろば」　　：子供たちといっしょにピアノなどを使って遊ぶ

運営ボランティアに参加した生徒たちからは、「子供たちの笑顔が見られてよかった」との感想も聞かれ、役立つ喜びを感じることができた活動になりました。

また、ボランティア防災部とは別に個人で応募し参加していた 小泉山芽さんは「おもちゃであそぼう!」ブースを担当、校庭での遊具や風船を使った遊びの補助などに取り組んでくれました。さらに、片付けの際は、進行を見ながら自分で気付いたところに手伝いに駆けつけたり、重いものも率先して運ぶなど、貢献していました。今回のアンケートの参加理由欄に「誰かの役に立ちたかったから。」と書くなど、意欲をもって取り組んでくれました。ありがとう。



ボランティア参加

2年 大坂彩葉さん、西村美音さん、トンナンティエイさん、小泉山芽さん、伊藤百花さん

1年 森ゆららさん、近藤杏香さん、中北怜愛さん

地域の方を前に、堂々とした発表をしてくれました。

尾久地区「中学生の主張」発表会　参加　10月10日（土）

10月10日（土）、アクト21ホールにて、尾久地区「中学生の主張」発表会が開催され、本校からは、2年生2名が次のテーマで発表をしました。



「AIと共に」　　2年　大友　辰馬さん
「なんでもほどほどに」 2年　輕木　絢子さん

この発表会は、「地域の中学生が日常の生活の中で考えていること、感じていること、また希望や意見などを発表する」場として、荒川区青少年育成尾久地区委員会の主催で行われ、今年で44回となります。

発表に際しては、「自分はなぜそう思ったのか」「どうしてそういう考えになったのか」等の考えを、文章にまとめ、伝わるように話すことが求められます。2人とも、そうしたことにしっかりと取り組み、それを地域の方を前にして堂々とした発表をしてくれました。お疲れさまでした。

こうした経験ができる機会を開催していただいた関係者の皆さまに、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました.

これまでの練習の成果を発揮してくれました。

荒川区連合英語発表会　10月29日（木）

10月29日(木)、サンパール荒川　小ホールで、「荒川区連合英語発表会」が開催されました。本校からは、次の2名の生徒が学校代表として出場、今までの練習の成果を発揮し、堂々とした発表をみせてくれました。



スピーチ部門
演題「Bears and Us」」　3年　大井　夢愛さん
パフォーマンス部門
演題「I Have a Dream」 2年　小野澤稜帆さん

今、日本の英語教育では「スピーキング」が注目されています。東京都でも「中学英語スピーキングテスト」＝“ESAT-J”を中学1～3年生でそれぞれ実施、3年生の結果は、都立高校の入学選抜に活用されます。これからも多くの生徒が、意欲をもって取り組んでくれることを期待しています。